

ひがし

通算第 124 号

2026.9.15 No.40

東飯田地区 人権学習講演会

9月4日東飯田地区人権学習講演会が行われました。部落解放同盟九重支部代表、松山マツ子さんが「今も残る部落差別」という演題で講演をしてくださいました。

小学校2年生の頃、担任の先生から受けた部落差別のこと。お母さんが病気がちで小学校5年生ぐらいから家事や育児をして苦労したこと。でも家族は仲がよくて温かったこと。息子さんや娘さんが結婚差別にあったけど、それを乗り越えてきたことなどをお話ししてくださいます。

感想の一部を紹介します

○松山さんの差別のおかしさについて「百人いて一人か二人でも分かってくれればいい」「そんな思いで差別と闘っていた、松山さんたちはすごいと思った。私たちが変わらなないと。私たちが差別をしな」と決意しなければなりません。

○部落差別は心の問題。だからこそ学ぶことが差別をなくす一歩だと思っています。

○罪のない子どもたちが差別に合うことはとてもつらいなと思いました。どんな差別もおきないように家族でたくさん話していきたいと思っています。

がしました。私たちも正しいことを学んで、子どもたちに伝えていかなければいけないと思いました。

○差別を受けた方々が一生懸命勉強しているのに、私は大人になってから、ほとんど勉強してなかった。みんなでやっぱり学習していかなければいけないと思いました。

○家庭訪問の話が同じ教員としてありえないと思いました。正しいことを伝えないといけない立場の人が差別しているというのはあってはいけません。そうならないように私自身が勉強し続けます。

松山さんありがとうございました